

競争入札参加資格審査申請に関するワーキングチーム（第2回）【議事要旨】

日時 令和元年8月29日（木）13:30～15:00
場所 総務省8階 国地方係争処理委員会室
出席者 阿部座長、篠沢構成員、神上構成員
オブザーバ （国土交通省）前川課長補佐、四位係長、番場係長
事務局 （総務省）矢部監査制度専門官、福島係長、重松事務官

【議事次第】

- (1) 開会
- (2) 意見交換
- (3) 閉会

【議事の経過】

事務局より、様式統一化に向けて具体的な対応方針案を説明し、主に「項目の整理」、「添付書類の整理」、「入札参加希望業種の整理」について意見交換を行った。

○「項目の整理」についての主な意見

- ・入札参加希望工種については、国の各省庁でも異なっているし、地方公共団体ごとに大きく違う。
- ・共通事項はどこも同じ。工事、物品などでわけるのはではなく、共通書式としてセットすると手間が省ける。
- ・あらかじめ枠を用意して、自由記載欄を設けた方がよいのではないか。
- ・独自評価点のため、各団体で設けている項目があるが、まとめきれないので自由記載欄が必要ではないか。
- ・共通項目の中で、不要な箇所については、斜線を引くなどで対応できる。
- ・業界側については、ブロック単位で統一することも選択肢の一つではないか。
- ・国の様式を使ったほうがよいのではないか。

○「添付書類」関係についての主な意見

- ・納税証明書と登記事項証明については、必須項目とした方がよいのではないか。
- ・選択書類はまとめられないのではないか。
- ・選択書類の幅も整理する必要があるのではないか。

○「入札参加希望業種」関係についての主な意見

- ・自分の団体では600種もの業種があり、必要に応じてどんどん増えてきた。現在も増加のベクトル。
- ・様式の枠だけ整理して、業種を統一しない方向性で整理してはどうか。
- ・ここが入札参加資格申請の入口なので、業種名でしぼるのはいかがなものか。

○その他

- ・いくつかの各都道府県に聞いたところ、7、8の都道府県で業種を共通にしていた。

以上